

救命救急医学

1 担当教員名

【研究指導教授】 教授 加納 秀記
【科目担当者】

2 教育目標

(1) ねらい

学生は、救急集中治療の現場で臨機応変に対応するため、救命救急・災害・集中治療・病院前医療に関する幅広い臨床知識・技術を身につける。救急外来における、自然災害(地震・台風・豪雨水害など)にパンデミック感染症など、危機管理を含めた災害医療システムの構築を研究する。病院前医療においても、スポーツなどイベントにおけるマスマスガザリング災害や、NBCテロを含む事態対処医療についての体制構築を目指す。看護師や病院勤務救命士、さらに病院前で共に活動するコメディカル以外の職種との連携を学ぶ。

(2) 学修の到達目標

- ① 初療室、病院前医療における救命救急の初療・蘇生が実施・指導できる。
- ② 救命救急、災害、集中治療、病院前医療が説明できる。
- ③ 救急外来における感染症の予防について対応ができる。
- ④ 災害医療や事態対処医療のシステムを開発できる。
- ⑤ 救急医療・災害医療・事態対処医療において危機管理の対応ができる。

3 授業内容

【講義】	救急・蘇生・外傷治療などの治療概論。 病院前救急の概論 災害医療・事態対処医療の実例を解説する
【演習】	救急外来診療 災害医療・病院前救急・事態対処医療
【実験研究】	救急外来における感染症診療の研究 病院前救急におけるシステムの開発 災害医療・事態対処のシステム開発

4 成績評価の方法・基準

到達目標の達成は論文(英文)より評価する。評価方法は課題レポート、授業での発表で評価する。

5 教科書・参考図書

救急診療指針, 監修: 日本救急医学会, へるす出版; 改訂第5版, 2018年
標準救急医学, 監修: 日本救急医学会, 医学書院, 2014年

6 準備学習(予習, 復習等)及び必要な時間

1週間におよそ7時間程度の予習, 復習が望ましい。

7 課程修了・学位授与方針と当該授業科目の関連

救命救急, 集中治療に関する論文作成を通して, 侵襲学分野での高度な専門知識と論理的思考を伴う研究 実践力, 特に専門領域での様々な課題に対応できる実践力を修得できる。

8 課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法

レポートは, 評価後返却されるが, 内容に不足・誤りがある場合は再提出を求めることがある。

9 履修上の留意点

臨床と結びついた課題を見だし, 将来の発展に結びつけるような知識, 技術, 研究法を身につけるように努力をする。

10 オフィスアワー

職名	氏名	曜日	時間帯	場所	連絡先
教授	加納 秀記	月	17:30~18:30	3次初療室	PHS 87022
		金	10:00~12:00		